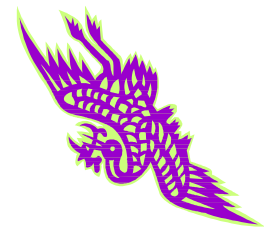


松鶴トピックス ～漢方と胆石～



10人に1人が胆石を持つ

日本人成人の10人に1人は胆石を持っていると言われ、欧米化した食事や高齢化も一因して、胆石症は増えているようです。アメリカでは高齢者の20%はコレステロール胆石を持っているそうです。胆石がひとたび暴れ出すと七転八倒の激痛を引き起こします。しかし胆石をお持ちの方の大半は痛みの出ない胆石「サイレントストーン」を持つ人で、胆石があることを知らずに一生を過ごされます。

肩こり、胸の痛みの原因?!

特徴的な胆石疝痛は、みぞおち～おへその右上にかけて激しい痛みが生じます。

痛みはだんだんと強まり、やがて数時間で治まるのも特徴です。

激しい痛み以外にも、胆石から連想出来ない様な、自覚症状も多くみられます。

- ・「胃が痛い」、「みぞおちが痛い」
- ・お腹の鈍痛や違和感(重苦しい)
- ・腰痛、背中痛み、肩のこり・痛み
- ・心臓病を疑うような胸の痛み
- ・脂っぽい食事後に冷や汗、吐き気、胃・腹痛
- ・高熱、黄疸(胆のう炎の症状)

胃痛で悩まされ、内視鏡で検査してみると胃はキレイで結局、原因が分からない、肩凝りが長いこと良くならない、そんな方に胆石が見つかり胆石の治療でスッキリ解消することがよくあります。

胆石が出来る訳?

加齢(40代以上)、肥満、出産で胆石が出来やすくなると言われていますが、健康的な生活を過ごす元気な方にも胆石の出来る方は大勢いらっしゃいます。脂質を控えて肥満に注意すること位で、今のところ効果的な予防策は無いようです。食事をすると、脂質の消化・吸収のため胆のうから胆汁を出します。しかし胆汁の出を胆石がジャマすることで、痛みなどを引き起こします。胆汁は肝臓でつくられて、胆管を通り胆のうで濃縮し貯蔵されます。胆石のうち大半を占めるコレステロール胆石は、胆汁内に含まれるコレステロールが過剰となり、胆汁に溶けきれなくなって結晶化し胆石が出来てしまいます。

日本人の胆石もコレステロール胆石の割合が年々、高くなっているそうです。

そのまま?手術?

健康診断や人間ドックで、超音波(エコー)検査を受けて、または他の臓器の検査を受けて偶然、痛みや症状の無い胆石「サイレントストーン」が発見される方の数も、増えています。

無症状の胆石でも、いずれ激痛が起きるかもしれないと胆嚢を切除するよう勧められるケースもありますが、基本的に手術は激痛の発作を繰り返す人に勧められるそうです。古くから“胆嚢の温存か? 摘出か?”で議論されていますが、現在も明確な基準はないままで、意見は分かれるようです。

お客様から聞いたお話で、病院で手術を勧められ、他へ行ってみると、「そのまま何もしないで良い」と言われ、さらに他で聞くと「どうするかはあなた次第です」と言われ悩んでしまったそうです。

一度、ご相談下さいませ

無症状の方、胆石で激痛が1度出たがそれ以来、何年も無症状の方、いつ起こるか分からない激痛に不安の日々を過ごしていませんか。また痛みや重苦しい感じが改善されず、胆のう摘出の手術を勧められたが、やはり手術は避けたいという方、胆石の家系の方も是非、漢方を。一度、ご相談下さいませ。